

エンディング

人生の生き方は自分で決められますが、人生の締めくくり方（＝エンディング）は自分で選ぶことはできません。それでも、最期まで自分らしく生きて自分らしく終わりたい・・・という思いは、誰しも同じではないでしょうか。

老若男女どなたでもご参加ください。

第1回 5月25日(日)
午後2時～4時

これから

第2回 6月22日(日)
午後2時～4時

最期まで
生き抜くための備えとして何が必要か？
変わる家族の視点から考える

「高齢社会をよくする女性の会・広島」代表
臨床社会学者
春日キスヨさん

高岡市高齢介護課担当者
社会福祉法人「桐鈴会」理事長
黒岩秩子さん

第4回 8月24日(日)
午後2時～4時

午後2時～4時

株式会社ヒューマン・サポート取締役
石橋孝史さん

参加費 全4回で **5,000円**（1回ずつの参加 各1,500円）
Nプロ会員4,000円（1回ずつの参加 各1,200円）
※参加費は当日会場でお支払いください。
※参加費にはエンディングノートその他配布資料代を含みます。

申込方法 チラシ裏面の申込書に必要事項をご記入の上、
FAX・TEL・メール いずれかの方法でお申込ください。
※申込の際には受講日をお知らせください。
※就学前のお子様を対象に、一時保育を行います。各回1週間前までに
お申込みください(先着5人まで)。

「エンディングを考える講座」参加申込書

(ふりがな) お名前		受講回	第1回・第2回・第3回・第4回 ※申込みの回に○をつけてください
電話番号		メールアドレス	
FAX 番号		一時保育	希望 ・ 希望しない

※お申し込みの際にいただいた個人情報は、この事業以外には使用いたしません。

講師プロフィール

「高齢社会をよくする女性の会・広島」代表
臨床社会学者 春日 キスヨ (かすが きすよ)

臨床社会学者。京都精華大学、安田女子大学教授等を経て昨年まで、松山大学大学院人文学部教授。「高齢社会をよくする女性の会・広島」代表。父子家庭の生活問題、高齢者介護の問題などの家族問題について現場の支援者と協働しながら、当事者と向き合う研究手法を貫く。著書に『介護とジェンダー』（山川菊栄賞受賞・家族社）『介護問題の社会学』（岩波書店）『家族の条件』（岩波書店）『父子家庭を生きる』（勁草書房）『介護にんげん模様』（朝日新聞社）『高齢者とジェンダー』（家族社）『変わる家族と介護』（講談社現代新書）。



社会福祉法人「桐鈴会」理事長 黒岩 秩子 (くろいわ ちづこ)

1940年名古屋生まれ。教師、保育士として勤務、参議院議員も経験。7人の子どもを出産。2007年3月より理事長を務める社会福祉法人桐鈴会（新潟県南魚沼市）は「共に育つ会」の住民の活動から生まれた。利用者が最後まで安心して暮らせる体制を作りたいという思いで平成15年にヘルパーステーション、平成16年にはグループホームと地域交流伝承館をつくり、地域に根ざした社会福祉事業を展開している。医療法人社団萌気会の理事長である黒岩卓夫さんと共に、夫妻で医療と介護を連携させた在宅療養支援診療所を運営。



株式会社ヒューマン・サポート取締役 石橋 孝史 (いしばし たかふみ)

1964年千葉県松戸市生まれ。山田会計事務所（現・税理士法人タックス総研）にて15年間勤めた後株式会社ヒューマン・サポート（YKCグループコンサルタント部門）取締役、株式会社富山グラウジーズ監査役、若手経営者会「富山本物研究所」所長、ほか多数のNPO法人の監事や理事を兼任。人間力は自然が教えてくれることに気づき、五感を研ぎ澄ますために自然とのふれあいを積極的に実践している。



NPO法人「おらとこ」理事長 野入 美津恵 (のいり みつえ)

1950年新潟県生まれ。1995年から（旧）大山町議会議員として2期務めた後、2003年特定非営利活動法人「おらとこ」を設立。デイサービスセンターを始める。2007年小規模多機能型居宅介護事業所「陽のあたる家／小規模多機能ホームおらとこ東」を開所。同年看護学校（准看護学科）に入学し、卒業後に准看護師試験合格。2012年「おらとことん」とん 駄菓子屋開所。2013年障がい者の働く場として「就労継続支援B型」を開所。現在4か所を運営している。

